

製品名: ETAR ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab10643**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	人間、ネズミ、サル
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	48kDa

抗原情報

遺伝子名	EDNRA
別名	EDNRA; ETA; ETRA; Endothelin-1 receptor; Endothelin A receptor; ET-A; ETA-R; hET-AR
遺伝子 ID	1909.0
SwissProt ID	P25101
免疫原	抗血清はヒト EDNRA 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 378-427

背景

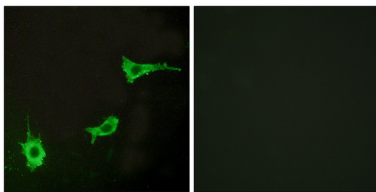
この遺伝子は、強力かつ持続的な血管収縮に関与するペプチドであるエンドセリン-1の受容体をコードしています。この受容体はグアニンヌクレオチド結合 (G) タンパク質と会合し、この共役によりホスファチジルイノシトール-カルシウムセカンドメッセン

ジャー系が活性化されます。この遺伝子の多型は片頭痛抵抗性と関連付けられています。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2009年10月]、機能: エンドセリン-1 受容体。ホスファチジルイノシトール-カルシウムセカンドメッセンジャー系を活性化する G タンパク質と会合することで、その作用を媒介します。ET-A の結合親和性の順位は、ET1 > ET2 >> ET3 です。類似性: G タンパク質共役受容体 1 ファミリーに属します。サブユニット: HDAC7 および HTATIP と相互作用します。組織特異性: アイソフォーム 1、アイソフォーム 3、アイソフォーム 4 は様々な組織で発現しており、大動脈と小脳で最も高く、次いで肺、心房、大脳皮質と続きます。胎盤、腎臓、副腎、十二指腸、結腸、心室、肝臓では低いレベルですが、臍帯静脈内皮細胞では発現していません。胎盤内では、アイソフォーム 1、アイソフォーム 2、アイソフォーム 3、アイソフォーム 4 が絨毛と幹絨毛血管で発現しています。、

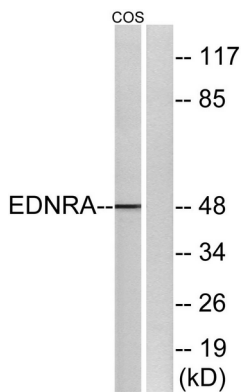
研究分野

カルシウム;神経活性リガンド-受容体相互作用;血管平滑筋収縮;

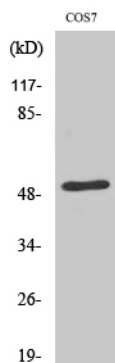
画像データ



EDNRA 抗体を用いた LOVO 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした状態。



COS7 細胞ライセートの EDNRA 抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロックされている。



ETAR ポリクローナル抗体を使用したさまざまな細胞のウェスタンブロット分析。